



共同研究施設紹介

国立病院機構 大阪医療センター



循環器内科の対象疾患としては主には、虚血性心疾患、心不全（高齢心不全から重症心不全まで）、心筋症（心筋生検は必要時施行し、読影は国立循環器病研究センター病理部の先生に協力していただいています）、弁膜症、閉塞性動脈硬化症、不整脈などです。虚血性心疾患は減少傾向にあり、心不全が増加傾向にあります。また、循環器疾患においては治療法の進歩や高齢化社会を反映して、疾病の重症化や複合化が認められ、包括的な診療が要求されます。心臓リハビリテーションを充実させ、再発予防、QOLの改善をめざしています。

平成25年度の診療実績は200例強のカテーテルインターベンション(PCI)。約250例の心不全入院のうち、約200例は急性心不全で、16例で心筋生検を施行しています。心不全入院の院内死亡率は5%です。閉塞性動脈硬化症に対して36例で経皮的血管形成術を施行。カテーテルアブレーションを10例弱で施行し、新規ペースメーカー植え込みは28例、植え込み型除細動器(ICD)は12例。約4000件の心臓超音波検査、350例の心臓核医学検査を施行しています。

循環器内科 科長 安村良男



共同研究施設紹介第10回は、大阪医療センターにご登場いただきました。本臨床試験へのご協力に心より感謝いたします。今後とも宜しくお願い申し上げます。

臨床試験進行状況

登録症例数 186症例
臨床試験参加施設 27施設

倫理委員会通過施設 25施設 / 27施設 症例登録開始可能施設 25施設 / 27施設 先進医療B申請通過施設 25施設 / 27施設